



「わからなければ、やってみる」
 その志を胸に携えて、
 人の役に立つ民宿を続けたい。

Interview
遊び家ふるたか
 小西 勇さん

空き家対策として取り組みはじめた、民宿経営。しかし、人との交流の素晴らしさやお客さまの役に立てることの喜びに、感動することも多いと語る小西さん。今回は、これまでの経験や、未来への思いをじっくりお伺いしました。

現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

私の場合、農林漁家民宿の許可をいただく前に、民泊を営んでいました。これは国が観光旅客の宿泊ニーズの多様化と、民泊の安全面・衛生面に対応するために2018年に施行された『民泊新法』に合わせて申請登録して、取り組み始めたものです。当時、うちが香川県で2番目に登録された民泊となり、1番目の方がマスコミ対応NGだったこともあって、テレビや新聞等の取材がひっきりなしに訪れて、宿の運営より、その対応がとて大変だった思い出がありますね。その後、保健所に登録して2021年に形態を『簡易宿所』に変更。農林漁家民宿になったのは、今年(2024年)の春からなんです。とはいうものの、農林漁家民宿のスタイルには以前から関心がありましたので、香川県農村整備課が開催する『開業セミナー』や『農林漁家民宿視察会』などに参加していただきます。知れば知るほど「宿の運営にも、お客さまにとっても自由度があっていいな」と思い、許可を得てはじめています。

宿は1棟貸しのスタイルで、寝室は2部屋。最大6名のお客さまをお迎えできます。部屋の1つは布団で寝ていただく純和風の8畳間で、もう1つはエアーマットレスを敷き、ベッドスタイルでお休みいただく7.5畳の洋室です。どちらも、3名様ずつの対応を想定しています。あと、洋室にはハンモックも1つ用意していて、自由にお使いいただけるようにしています。うちは外国のお客さまが多いのですが、意外と純和風の部屋が好まれているようです。宿泊費は、4名様までのご利用で1泊11,000円(但し、金・土および祝日の前日は13,000円)で、それを越えると1名あたり1,500円の加算で追加の宿泊は最大2名まで対応いたします。それと、清掃費を宿泊全体で2,500円をいただいています。子ども料金の設定はありませんが、未就学児については無料とさせていただきます。

支払に関しては、現金払いはなく、うちと提携している旅行サイトでのカード決済となります。また、上記の金額にプラスして、サービスの料金が若干掛かるとしています。食事については、8畳のキッチンをご自由にお使いいただいて自炊のお願いをしています。お食事の準備を希望される方には、すぐ隣の海鮮料理店を含めて近所に美味しいお店がいくつもありますので、お客さまニーズに合うレストランをご案内しています。

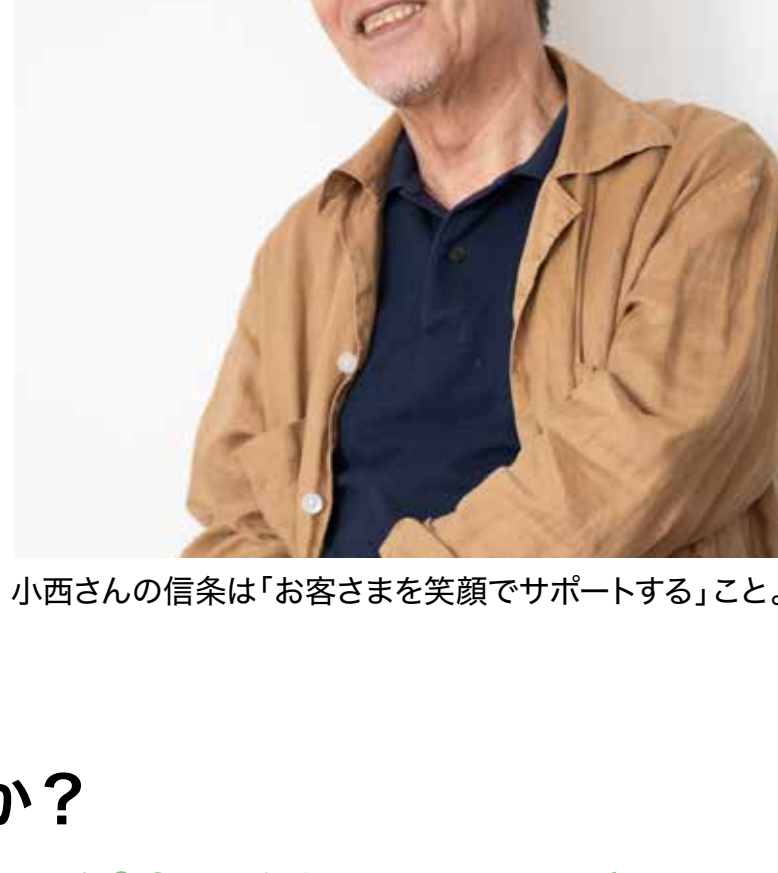


幹線道路沿いの立地も、敷地内に入ると落ち着いた佇まい。

お宿のPRポイントをお教えてください

お客さまとの楽しいコミュニケーション、いい旅のサポートができる宿を目指しています。建物は若干古いですが、快適に過ごしていただけるよう隅々まで気を配っています。私は宿を始める前に、実は島島で観光ボランティアガイドを17年ほど務めていました。この経験を活かして、人との気持ちいい交流を心掛けています。

その効果があったのかは分かりませんが、先日提携している旅行サイトから『スーパーホスト』の称号をいただくことができました。この肩書きを手に入れるには、宿を利用された方の評価が必要で、評価は宿に対する「ホストの対応」「価格」「清潔さ」「設備」「キャンセル率」など細やかな項目に分けられていて、そのすべてが高水準でなくてはならないんです。もちろん、評価だけを気にして宿の経営をしていたわけではありませんが、自分の努力が報われた気がして嬉しかったですね。今後も誰もが快適に、笑顔でご利用いただける農林漁家民宿を維持できるよう努めていきたいです。



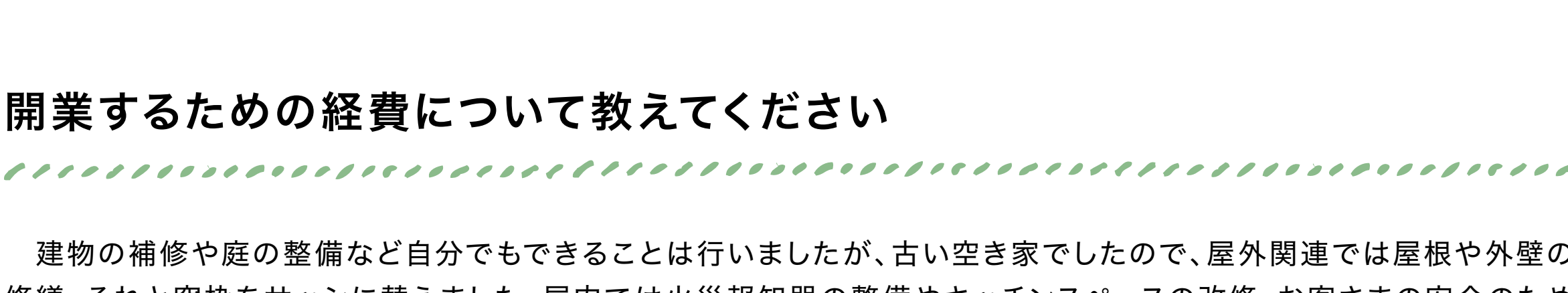
小西さんの信条は「お客さまを笑顔でサポートすること」。

なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

自分が50歳の頃、網膜剥離と緑内障を患って1ヶ月ほど入院したことがありました。それで「人生を見つめ直す」ではありませんが、仕事一辺倒で生きていた自分の中に「このままでいいのだろうか」という思いが湧いてきたんです。ちょうど同じ頃、自分の故郷である庵治町の人口減少が問題化されはじめていて、地域活性化の動きが求められていました。それで、思い切って会社勤めを辞め、人生の第二幕は故郷や自分の住んでいる地域のために役立つこと、自分の人生を楽しむことを求めて不動産業をはじめたんです。

その事業の一環で、人口減少化とともに増え始めた『空き家』対策をおこなうべく、『空き家活用研究会』というNPO法人を立ち上げました。空き家活用をアピールする上で、机上の空論を重ねても人は興味を持っていただけないので、空き家活用を実践することとし、民泊を開業したのがはじまりですね。

家族も「病気で失明する前にしたいことをさせてあげよう」と思ったのか、大きく反対されることもなく、私のわがままを許してくれました。その時は、嬉しかったですね。



外国人のお客さまにも受けがいい、純和風の雰囲気。

開業するための経費について教えてください

建物の補修や庭の整備など自分でもできることは行いましたが、古い空き家でしたので、屋外関連では屋根や外壁の修繕、それと窓枠をサッシに替えました。屋内では火災報知器の整備やキッチンスペースの改修、お客さまの安全のために防災カーテンの整備、寝具や宿泊に必要なモノを揃える必要がありました。それらのために、おおよそでトータル500万円ほどの費用が必要でしたね。でも幹線道路沿いという立地で、JR線の駅が近いこと、飲食店にも恵まれているなど利便性がいいので「民宿を開業すればお客さまは来てくださる」と思って投資を決断しました。

旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

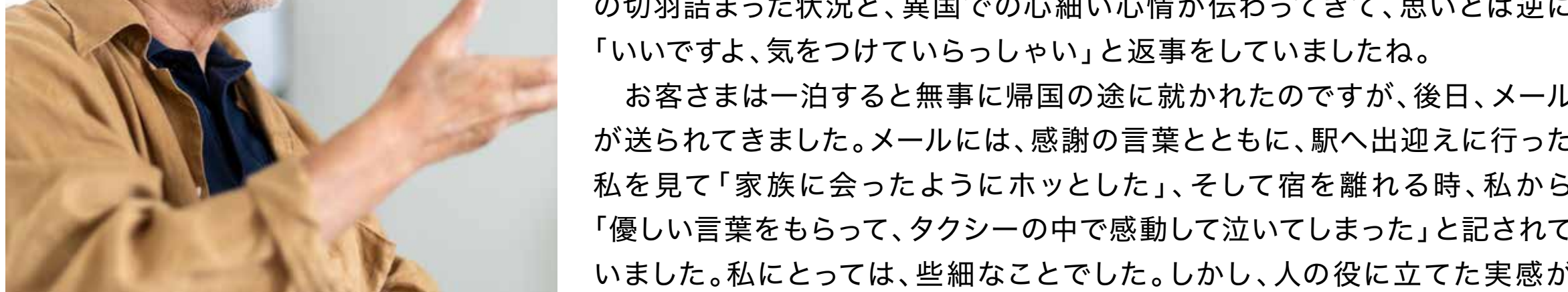
民泊開設時から、民宿開業のための申請や許可を取るため、役所などに何度も足を運ぶことや書類を作成する手間がありました。しかし、不動産事業はそんな業務は日常茶飯事ですから、ことさら面倒だとか、困って頭を抱えることはありませんでした。ただ、今もう一度同じことをしろといわれたら「勘弁してください」と、言うかも知れません(笑)。もしそうなれば、今度は香川県の農村整備課のスタッフの方々にも最初から助けていただこうと思います(笑)。

農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

見ず知らずの方と出会って、ふれあうことの楽しさ、素晴らしさを知ったことです。宿を開業しなくては得られない経験も多いですから、私にとって実に有意義な仕事だと感じています。

また、私は不動産業、民宿業以外にも、最近個人的に『モリंगा』という植物の栽培と、その加工販売もはじめたんです。この植物は、コレステロールや血糖のコントロール、血圧調整にも効果があるインド原産の植物なのですが、人間への好効果だけでなく、二酸化炭素の吸収能力が高いので環境面にも良い効果をもたらします。まさに人にも、地域に役立つスーパーフードなので、まだまだ知名度が足りないというのが現状です。

そこで宿に訪れたお客さんにモリंगाを味わってもらって、その良さを知り、地元に戻って周りの人たちに伝えてもらえたらいいなと思いました。農林漁家民宿では、その栽培や加工体験も提供できるので、モリंगाへの興味や知識に対する深まりが強いと感じています。徐々にでも、この植物のことが知れ渡るようになれば、私の趣味と実益が同時に得られるので、とても嬉しいです。

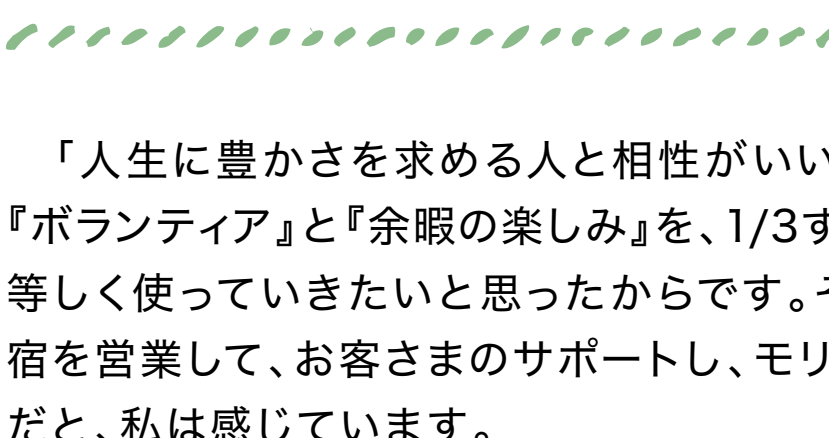


最近注目の『モリंगा』のお茶。その加工も手掛けている。

シンプルで使いやすいキッチンに改修。

囲炉裏端では、会話がはずむそうだ。

宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください



「人の役に立つ喜びを、宿が教えてくれた」と小西さん。

これは農林漁家民宿をはじめ前の思い出になってしまうのですが、2019年8月に香港市民による大きな民主化デモがありました。そのデモの影響で、香港の空港が一時的に封鎖される事態となったのですが、ちょうどその日に私の宿泊者、香港に帰っていったお客さまがいました。「大丈夫ですか」と思っていると、その夜、お客さまから連絡があり、「申し訳ないですが、飛行機が飛ばないので、もう一晩泊めてくれませんか」というお願いでした。部屋自体は空いていましたが、寝具を洗濯したばかりで、お客さまの人数分は揃わない。それでやりわりと断りしようと思いましたが、けれど、お客さまの切羽詰まった状況と、異国での心細い心構えが伝わってきて、思いとは逆に「いいですよ、気をつけていらっしゃい」と返事をしていましたね。

お客さまは一泊すると無事に帰国の途に就かれたのですが、後日、メールが送られてきました。メールには、感謝の言葉とともに、駅へ出迎えに行った私を見て「家族に会ったようにホッとした」と、そして宿を離れたと記されて「優しい言葉をもらって、タクシーの中で感動してしまいました」と書かれていました。私にとっては、些細なことでした。しかし、人の役に立てた実感が芽生えて、感動と同時に身が引き締まるような気もしました。それと「宿を営むと地球が狭くなるんだな」という思いも、生まれましたね。本当に心に残る思い出です。

農林漁家民宿の魅力は何ですか？

「人生に豊かさを求める人と相性いい仕事だな」と感じています。私は、不動産業の仕事始めた頃から、『仕事』と『ボランティア』と『余暇の楽しみ』を、1/3ずつの割合にして取り組んでいく目標を掲げました。自分の大切な時間をどれにも等しく使っていかたいと思ったからです。その目標に対して『農林漁家民宿』の経営は、とてもスムーズにはまるのです。宿を営業して、お客さまのサポートし、モリंगा栽培など自分の余暇にもチカラを注ぐことができます。これは大きな魅力だと、私は感じています。

農林漁家民宿の今後の目標を教えてください

ご縁があればもう1軒手掛けたいと考えています。民宿の経営が楽しいということもありますが、増え続ける「空き家」の対策にもしっかり応えられる結果を出したいのです。いま故郷の庵治町や、自分が住む屋島近辺に候補地を選定中で、GOサインが灯れば自分のNPO法人も含めて、事業化に向けて取り組んでいきたいと思っています。

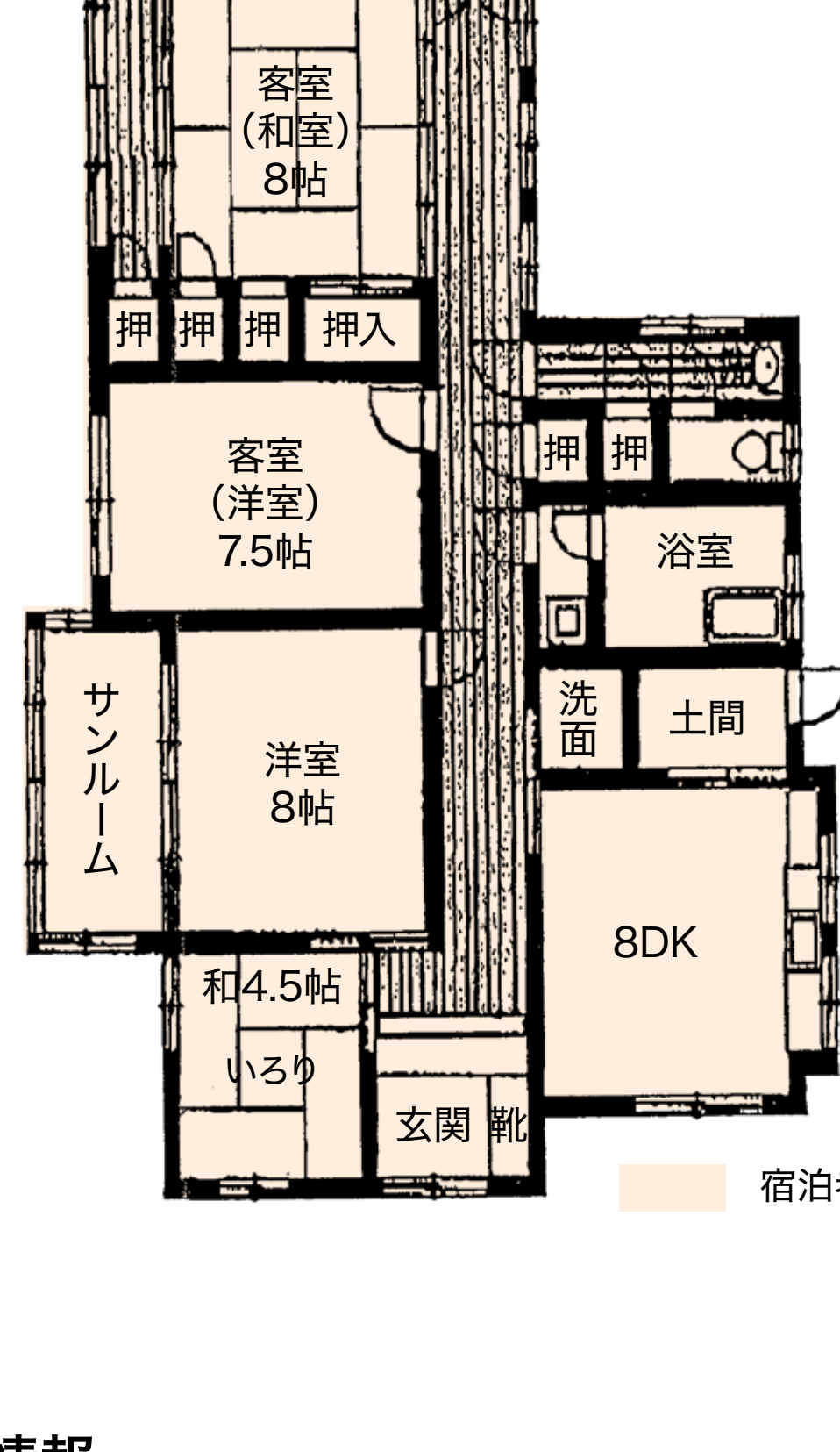
民宿はハウンド対策にも有効に活用できますし、空き家対策として社会に貢献することもできます。ですから地域の人と連携して担っていければ、好結果を出せる仕事だと思います。もし「私も農林漁家民宿をはじめたい」とおっしゃる方がいれば、私はそのお手伝いも無償でしたいくらいのおっしやる方です。

私には「わからなければ、やってみる」という、志があります。民宿業はその1つでした。この志を励みに、これからも民宿という仕事を通じて、コミュニケーションの輪を楽しく広げながら、自分にも、人にも、そして地域にも役立つことを楽しくしていきます。それができれば、人生がもっと豊かになると思いますから。



今後は農林漁家民宿を始めた方への協力も考えたいです。

遊び家 ふるたか 間取り図



遊び家 ふるたか 基本情報

住所	〒761-0104香川県高松市高松町2035-1
活用した建物	古民家
営業期間	通年不定休(要予約) チェックイン: 15:00(最終チェックイン:19:00) チェックアウト: 10:00前
宿泊スタイル	1棟貸し(寝室2部屋)
体験メニュー	○モリंगाの栽培・加工の宿泊体験 ○島島散歩体験
食事	対応なし※希望を伺い、近隣のレストランをご紹介します。
宿泊料	基本料金 1棟貸し 素泊まり1泊 平日大人4名まで11,000円(金・土・祝日の前日は13,000円) ※4名以上は1,500円/人、子ども料金の対応はありません ※別途、清掃代2,500円 ※お支払いは、旅行予約サイトでのオンラインカード決済のみ
ホームページ	https://www.airbnb.jp/users/show/133855763 (旅行サイト「Airbnb」ページ)

※施設の情報については、令和7年1月31日現在のものです。